

借金596億円 18億円減少

平成24年度
決算の認定

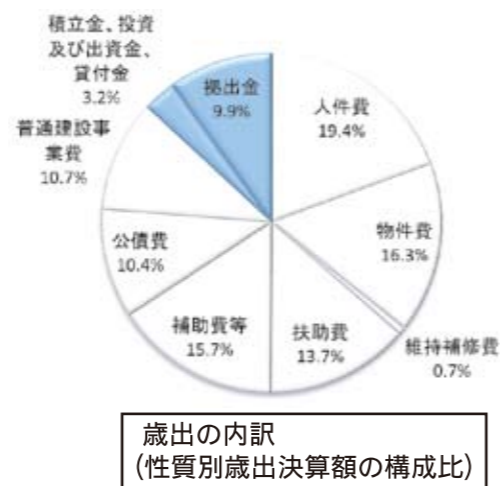
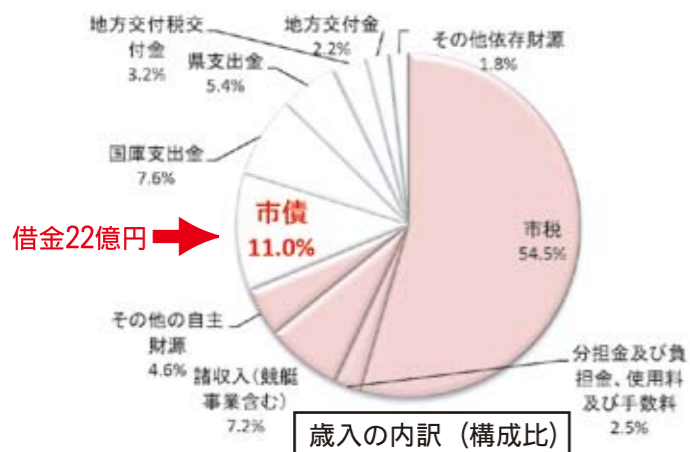
決算額
一般会計 歳入 201億8331万円 (市債22億円含む) 歳出 193億4089万円
特別会計 歳入 578億2150万円 歳出 536億3295万円

貯金の習慣が無く、借金が膨らんだ常滑市
行財政改革に取り組み、改善の兆しか？

借金の類似団体との比較

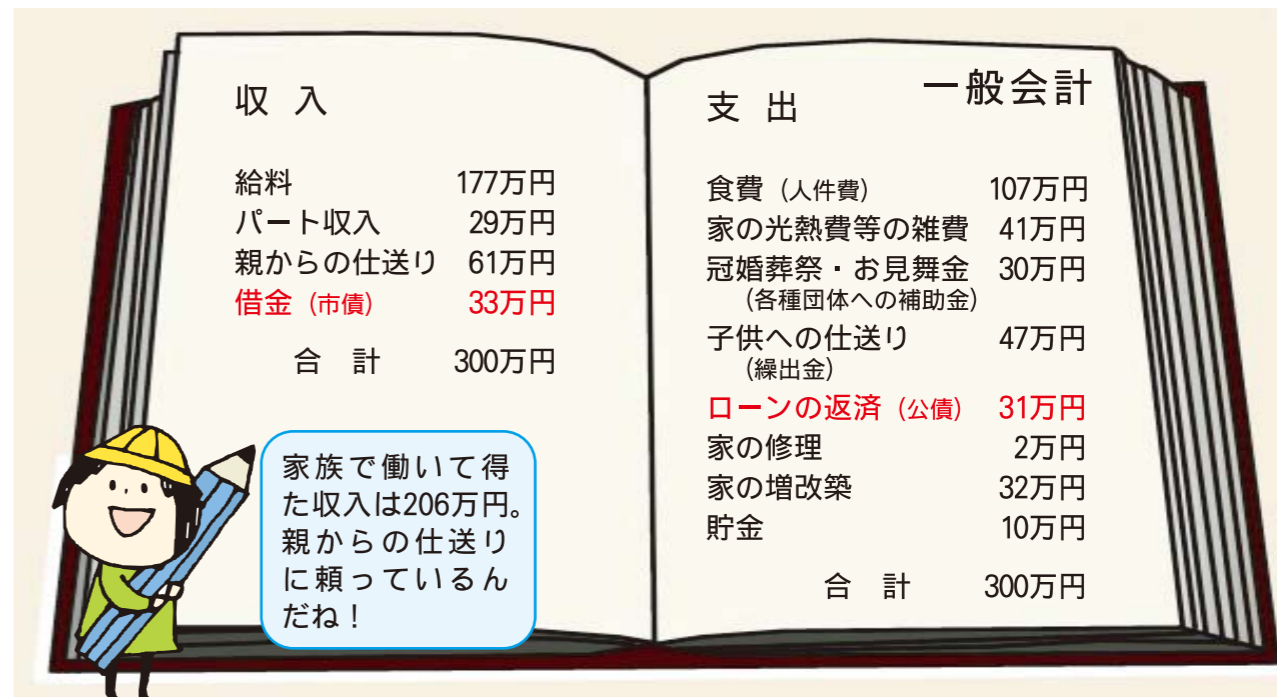
	人口	歳入規模	貯金	借金	借金1人当	将来負担比率
常滑市	5万7000人	201億円	12億円	596億円	104万円	192.7%
恵那市	5万4000人	289億円	147億円	367億円	67万円	36.3%
愛西市	6万5000人	209億円	146億円	306億円	47万円	—

(将来負担比率が算定されない場合は「—」が記載されます。)



返済は若い世代が

ローンの返済より借金が多い家計の行く末は？
常滑市の財政状況を家計に例えると！



あなたは常滑市に何ができますか？

今後、病院建設費112億円、大型ごみ焼却建設負担金、下水道工事、老朽化施設更新問題、高齢化による医療費負担など、財源不足は今後も続きます。今後は市民の協力なくしてはこの危機は乗り切れません。行政に任せるだけでなく、市民の積極的なアプローチを！

- ① 議会の傍聴や議会と語る会などには積極的に参加し情報を共有化する。
 - ② 常滑市の財政状況を把握するために、市民による財政白書づくりをする。
 - ③ 情報共有のために、インターネット上に予算編成過程や各種委員会議事録など、行政に情報提供を要請。
 - ④ 自分たちの町は自分たちで守るという意識のもと、地域で市民会議をつくり実践をしていく。
- 市民の税金で市役所は回っています。自分の税金がどんな使われ方をしているか把握することは当然では。市民は声を上げ、行動をして下さい！

子供にツケをまわさない！

常滑市議会初の「議会と語る会」開催される

「第1回議会と語る会」が10月12日常滑市役所において60人の参加を得て開催された。最初に議長挨拶から始まり、次に各々の委員長から委員会報告が行われた、第2部では市民から出された質疑に対して議員が答弁。その後自由な質問時間が設けられた。しかし、この会の終了の3時までにはたった20分しかなく、参加者の方からは、時間の配分が悪い、議会と語る会ならばもっと市民の声を多く聞かすべき、財政状況が悪ければ議員の報酬を下げるべきだという言葉が聞かれた。今後は市民のための議会ということを念頭に置いた「議会と語る会」にしていく努力をしていきたいと思う。



9月議会の主な報告及び議案

▼報告

平成24年度決算にかかる健全化判断比率についての報告 (単位%)

	平成24年度	平成23年度	平成22年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	14.3	12.6	10.0	25.0	35.0
将来負担比率	192.7	206.6	206.7	350.0	

将来負担比率は350%以上になるとタ張状態になる。この数字が3ケタの市町村は愛知県下の中では常滑市だけでありワースト1、注視する必要がある。

▼議案 財産取得について

モーター競走用モーター321型、65基を、4264万2600円で購入。

平成24年度決算に賛成

職員給与削減、幼・保育園の統廃合・民営化、下水道整備や常滑駅前土地開発などの縮小。収入増加策として企業誘致、市税収納率向上。これらにより17億円効果額を出すことができた。また今までなかなかできなかった貯金を4億5000万円積み立てができ、ここ数年上がり続けていた借金も下がった。24年度の予算に対して忠実に歳出の遂行ができたことにより賛成をした。

当市においても病院や施設老朽化問題はもとより、アメリカ政府機関閉鎖やTPPなどの世界情勢によりサブプライムが起こってくる可能性がある。今後26年度の予算を注視する必要があるであろう。